

吉田、特別委員長へ

本庁舎を巡る議論に結論を

就任の所信「丁寧に、確実な議論」

本庁舎建設に関する特別委員会の様子 多治見市役所（日ノ出町）



令和2年3月に本庁舎建設に関する特別委員会が設置されて以来、三代目の委員長として吉田が選出された。この特別委員会は議案提出前から設置されたにも関わらず、本庁舎移転の議案に結論を出すことなく廃案となるなど、混乱が続いていた。

一年以上結論が先送りされている事態に終止符を打ち、建設的な議論が行われるためには、丁寧な調整が不可欠だ。一方で、限られた時間の中で効率的に議論を進めていく必要から、吉田は就任後すぐに会派代表の小委員会を設置した。これにより、実質の議論と論点整理とを分離し、建設的な委員会運営が行えるものと考えている。

いずれにせよ、本庁舎建設という問題が誰のためにあるのかという事を忘れてはならないだろう。これは言わずもがな市民のためであり、小さな声にも耳を傾け、大局に立って判断する事が重要である。いわんや議会や行政のためにあるのではないのである。

社稷抄

幻の東京五輪と言われる1940年のオリンピックが戦争で中止になったことは割と知られている。この大会は皇紀2600年を記念して開催される予定だった。▼その後、戦後復興の象徴として開催された前回の東京五輪は、高度経済成長に裏打ちされた日本経済をより確かなものにしただろう。▼2020年は幻の東京五輪から80年、多治見が市になつてからも80年目の節目にあたる。▼震災復興の象徴として開催されるはずであった東京五輪は、新型コロナウイルスという世界的脅威によつて延期を余儀なくされた。多治見市制記念80周年花火大会も同様だ。▼オリンピックは延期という形でも開催した。賛否両論あることは承知しているが、それでも現場の苦労と熱意には敬意を表したい。多治見市の花火大会も今年は開催した。そこにも数多の苦難があった事はここに記しておきたい。

吉田新報

発行人／多治見市議会議員 吉田企貴

令和3年号 令夏

吉田企貴後援会事務所
多治見市小名田町6-144
〒507-0004 FAX0572-51-4930
mototaka2736@gmail.com

毎月第3水曜日 午後7時30分

多治見市上野町1丁目22

企てつる会

公式Webサイト

吉田が推進する政策や取り組んでいるテーマの他、プロフィール等も掲載しています。覗いてみてくださいね。

<https://mototaka.info>

自民党オープンカフェスタジオ

Café Sta

自民党の"今"を動画で配信

教えて 古屋さん

憲法改正

YouTube

お友だち登録してね!

LINE公式アカウント

吉田の政治活動や多治見の暮らしを良くするヒントをご提供します。

登録無料

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry

支援策を紹介

従業員の休業手当等のため	新分野展開などの事業の再構築に	実質無利子融資の上限を
最大 10/10	最大 1 億円まで補助	最大 3 億円に引上げ
の助成金を支給		

教えて 古屋さん

消防議員連盟

YouTube

特別企画
対談
共に実現する政治
その目指すところ

**古屋代議士の掲げる「実現する政治」が
目指している社会。**

「古屋先生のキャッチコピーでもある「実現する政治」とは具体的にどのようなものですか？」

私が31年にわたる議員活動で大切にしてきたことは国と県、そして東濃5市の連携です。これは全てに共通する重要なポイントで、いわば「小異を捨て大同につく」の精神です。一般的に隣の市はライバルですが、私は東濃が地域全体として評価してもらえよう、様々な要望は東濃全体で連携をしています。

その一例は、特別交付税です。東濃5市一体で国への要望をしている地域は、全国でも東濃だけです。その成果も出ているのです。お互い意見が違っても、結果としての実績ができれば、その果実を地域全体で共有し、大きな力に変えて

いくことが出来ます。そして、一致結束するために重要なのは窓口の多さではなく、信頼できる責任者同士との連携です。これは31年の積み重ねで築けたことであり、地元はこの成果をお返しすることが、私の使命だと考えています。

**新型コロナの脅威に、
国と地方が協力して
立ち向かっていく。**

「市民にとって最大の関心事はコロナ対策だと思います。この未曾有の危機をどう乗り切っていけばよいのでしょうか？」

100年に一度と言われるコロナの危機に、いかに速やかに政策を実行するか。今まさに、このことが政治に問われています。

国は地域の実情を直接は把握できません。一方で、地方は国の支援を必要としています。コロナ禍のような緊急事態において、平時

と同じ対応では遅すぎます。私は地元の声を直接届けるため、政権与党の一員としてこれまで築いてきた政府・関係省庁における、あらゆるネットワークを活用して対策にあたってきました。

また、コロナを教訓に、東京・首都圏には大きなリスクがある事を痛感しました。リスクマネジメントを国家としてやっていかないと世界からの信用にもつながりません。だからこそ、コロナを「災い転じて福と為す」「ピ

ンチはチャンス」の発想で、コロナ対策を踏まえた新しい国のあり方について、与党の責任者として提言をまとめました。



古屋圭司

Keiji Furuya

生年月日：1952年11月1日(年齢68歳)

当選回数：10回(在職31年)

衆議院議員。国家公安委員長、拉致問題担当大臣、初代国土強靭化担当大臣、防災担当大臣、議院運営委員長、自由民主党選挙対策委員長などを歴任。当選以来、一貫して「真の保守主義の確立」を目指すブレない政治家。

趣味はクラリネット。50歳からはじめて、今ではオーケストラとの共演も。



還暦になったら人前で披露することを目標にクラリネットをはじめたそうです。今でも毎朝5時に起きて練習しているとのこと。台湾総統府で、総統を前に披露するなど、趣味のクラリネットは外交にも活かされています。吉田の地元の敬老会でも披露いただくこともしばしば笑。

古屋代議士の
意外な素顔①

お友だち登録してね!
LINE公式アカウント
日頃の活動報告や多治見の暮らしを
良くするヒントをご提供します。

自民党オープンカフェスタジオ
Café Sta
自民党の"今"を動画で配信

実現する政治。
古屋圭司
Official Site

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry 支援策を紹介

従業員の 休業手当等のため 最大 10/10 の助成金を支給	新分野展開などの 事業の再構築に 最大 1 億円 まで補助	実質無利子 融資の上限を 最大 3 億円 に上げ
--	--	---

教えて
古屋さん
消防議員連盟

教えて
古屋さん
憲法改正

**美濃焼の魅力
全国に発信していく
広報本部長として**

「コロナ禍で地場産業も苦境に立たされています。いま政治に何が求められているのでしょうか？」

私は美濃焼PRの東京本部長を自認していますが、今回、東京五輪の選手団・役員への記念品に美濃焼が採用されました。これは、業界関係者と一体となって取り組んだ粘り強い交渉の成果であったと思います。入村式が中止となり、メディアに広く紹介できなかったのは残念でした。

また、陶磁器関連の企業を訪問した際に、コロナ禍であってもSNSなどを活用し、新たな販路開拓をしている企業がある一方で、様々な課題についても直接



お伺いできました。魅力ある美濃焼を目指す上で、こうした課題を一つ一つ丁寧に解決していくのは、官僚ではなく、現場に根差した私たちが政治家の役割だと考えています。

私は党の陶磁器文化産業振興議員連盟の会長を務めています。地元においても東濃3市の同志議員が美濃焼振興議員連盟を設立してくれました。こうした市域を超えた議連が設立される例は全国的にも大変珍しく、美濃焼の存在感を示す上で果たす役割は大きいと思います。

**社会機能移転で
活力ある地方の創生**

「東京一極集中が加速し、地方が疲弊しています。抜本的な改革が必要ではないでしょうか？」

人口減少が進む中、スマートで効率の良い東京、自立した活力ある地方の両方を創っていく必要があります。

昨年、私はこの実現に向けて社会機能全体の全国分散議員連盟・特命委員会を立ち上げ、幅広い意見を伺っ

た上で政府に提言書を提出しました。この内容は政府の「経済成長戦略2021」に幅広く反映され、我が国が向かうべき地方のあり方の方向性を示すことができたとと思います。

これからは地方がオリジナルの政策を提言し、多治見市にしかできないまちづくりを進めるべきだと思います。例えば、政府はデータセンターの全国への設置を検討していますが、私は東濃への誘致に向けて、古田知事も連携し関係省庁への働きかけをいち早く実施しています。

但し、ただの誘致活動だけでは実現できません。この東濃地域はどんな特徴があり、どんなメリットがあ



吉田 企貴 Mototaka Yoshida

多治見市議。27歳で最年少で初当選し、現在2期目。子どもは息子が2人で現役の子育て世代。今回のインタビュアー。

るのか、どの地域も行ってない新しい発想で具体的な提案を国にする必要があります。

**中央リニア新幹線の
波及効果を多治見に**

「リニア岐阜駅は東濃に建設されますが、この恩恵を多治見にも及ぼすことは可能でしょうか？」

東濃にはリニア中央新幹線の駅と沿線唯一の車両基地ができます。リニアは手段であり、目的は東濃全体の「税金」と「人口」を増やすことです。だからこそ、企業の本社機能や研究開発機関を誘致する活動を県と

連携して行っています。私が目指す東濃は最先端の科学技術と伝統文化が融合した地域です。多治見には陶磁器・タイルという素晴らしい伝統産業があります。駅南の再開発は多治見だけの取組みに留めず、東濃の玄関口という発想でリニアとの連携を模索するべきでしょう。これは東濃のポテンシャルを活かすチャンスでもあります。

連携して行っています。

やはり東濃最大の都市「多治見」の役割は大きいと言えます。リニアを活かして東濃をリードし、将来にわたって、あらゆる事業に東濃が一つとなって取り組むことで、他都市に負けない魅力ある地域に必ずできると私は信じています。

実は国会の大重鎮。当選回数は上から数えて13人（年齢では上から81番目）。

古屋代議士の意外な素顔②



国の政策を進めていくうえで大事なものは、様々な意見をまとめて実現する事。若手国会議員をはじめ、時には閣僚クラスまで相談に来ることがあるそうです。そんな大重鎮でも、吉田の市政報告会へ毎回お越しいただけるのは古屋先生のお人柄です。



安倍前総理と内政・外交について定期的な意見交換

安倍前総理は成蹊学園の1年後輩に当たり、秘書時代も共に過ごした同志です。古屋代議士は安倍政権で大臣を務めるなど、その関係は深く、現在でも緊密な連携を取っています。今後も、この関係を活かして実現する政治に繋げていきたいと思っています。

加藤官房長官に社会機能全国分散の提言を提出

与党の責任者として提言を取りまとめ、官房長官に提出。コロナ対策を踏まえた次の時代の地方の在り方を示されました。

地方と東京が共に活躍できる国づくりを進めていく上で、私たちの声を直接国に届ける窓口として活躍いただいています。

菅総理とコロナ・ワクチン対策について意見交換

コロナ禍のような緊急時には、トップの素早い判断が求められます。こうしたとき、地方の実情を伝えるのは政治の務めです。

古屋代議士は当選10回のベテラン議員として、地元はもとより国政全般にわたって大所高所より政権運営に携わっています。

市、データセンター誘致に意欲



千葉県で計画されている国内最大級のデータセンター＝大和ハウス工業（株）提供

一般質問

吉田は、6月定例会において一般質問に登壇し、国が進めるデータセンターの誘致に名乗りを上げること提案した。これに対して、市は意欲を示し、誘致に向けて行動を開始すると回答をした。

データセンターはソーサエティ5・0社会に不可欠の設備で、経産省が全国に5カ所を目的地に整備を進めている。大量の電力を要し、1カ所あたり数百億の投資が必要になることから経済効果は絶大だ。誘致のためには、市単独ではなく、国・県とも協力していく必要がある。吉田も古屋代議士をはじめとして、岐阜県等の関係機関に対する働きかけを強めていく。

「共に実現する政治」を目指して

自民党多治見市支部では政治活動用2連ポスターを作成した。市議会議員との組み合わせは東濃では初めての試みとなる。

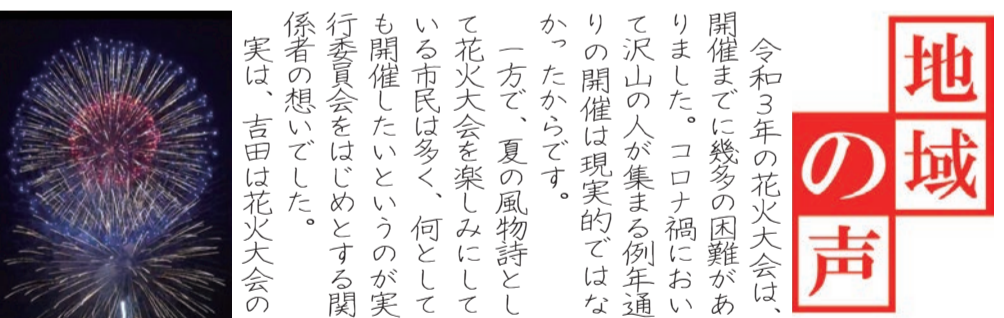
この企画は吉田の発案によるもので、古屋代議士と協議の上で進めてきた。当初、キャッチフレーズは「実現する政治」であり、「共に」



共に実現する政治。



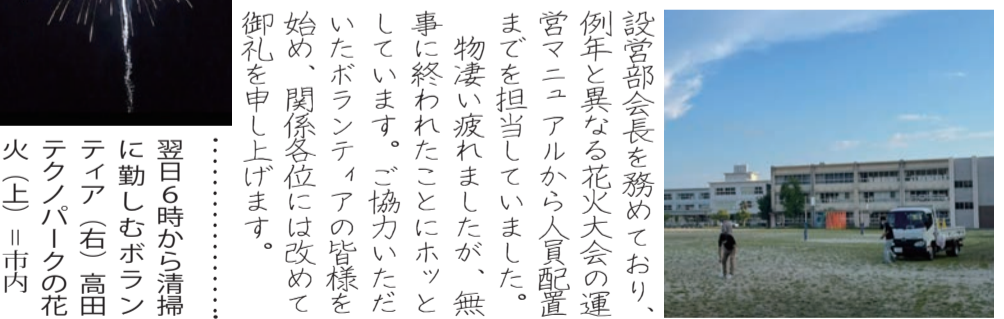
は入っていない。これに対し、代議士から、国と地方が連携していく姿勢を大切にす意味でも「共に」を付けたいとの提案があり現在の形となった。



地域の声

令和3年の花火大会は、開催までに幾多の困難がありました。コロナ禍において沢山の人が集まる例年通りの開催は現実的ではなかったからです。

一方で、夏の風物詩として花火大会を楽しみにしている市民は多く、何としても開催したいというのが実行委員会をはじめとする関係者の想いでした。



編集後記

久々の拡大号です。広告欄を作ったのですが今回は掲載を見送りました。色々挑戦していきます。

さて、実は先日PCR検査を受けました。知人が感染したのですが、濃厚接触者ではなかったものの念のためと保健所から要請があったためです。結果は陰性で事なきを得たのですが少々ドキッとしてました。

誰が感染してもおかしくないからこそ、一人ひとりが自己防衛を心がける必要があります。今回あらためて身に沁みました。また、執拗とも言える県の姿勢に感心するとともに、自粛中に家族の有難みを再確認する機会をいただきました。

………
翌日6時から清掃に勤むボランティア(右) 高田テクノパークの花火(上)＝市内

論説

保守主義とは何か？

「保守主義の父」と言われるエドモンド・バークは、18世紀イギリスの政治家で、その思想は現代においても高く評価されている。バークは保守主義の本質を歴史や文化、自然に対する謙虚さにあると説く。これは裏を返せば人間の理性に対する過信を戒めることを意味する。人は不完全な存在であるからこそ伝統を尊重し、急進的な改革ではなく漸進的な改良を目指すべきであるという考えが保守主義の根底にはある。

「保守するための改革」という理念

それと同時に、バークは「変革の手段を持たない国家は、自己保存の手段も持たない」とも述べている。矛盾とも思えるが、「変わり続ける」ということな

る。この関係性は寺社仏閣が千年以上にわたって修繕を施されつつ往時の姿を保っていることに似る。特に、私たちの社会を構成するのは人間であり、その生命は常に有限だ。個と

「共に実現する政治」という理念

いま、保守主義の存在意義を問うならば、結局のところ絶対的な正解など存在しないという点に尽きる。政治が模索すべきは、不確かな可能性ではなく、確かな妥当性であるべきだ。相

対的に正しい選択を着実にしていくより他ないのだ。保守主義を私に語ってくれた政治家は2人いる。一人が古屋代議士であり、もう一人が伊吹文明・元衆院議長だ。岐阜で伊吹氏の講

演を拝聴した事があるが、実に格調高い保守政治論だったのを記憶している。また、両氏は「保守するための改革」という理念を大切にし、そのためには伝統に対する真摯な姿勢と共に、政治家としての決断が最も重要であると強調する。詰まるところ、私たちの社会は私たち自身が創っていくという事なのだろう。保守主義とは、現在の責任を持つとするとする政治姿勢に他ならない。

皆さんの声をお聞かせください!!

政治活動の源泉は皆さんのお声です。小さな声にも耳を傾け、大局に立って判断する...。政治家として、ふるさとの未来のために日々邁進して参ります。不在のことも多く、電話は繋がりにくいいため、各種SNS等を通じてご意見をお寄せいただければ幸いです。

出張!! お届け市政報告会
 少人数でも吉田が直接伺って政策を届けます!お気軽にご連絡ください。

事務所: 多治見市小名田町6-144
 TEL&FAX: 0572-51-4930
 mototaka2736@gmail.com

吉田もとたか

LINE QR CODE, Facebook QR CODE, Instagram QR CODE, Twitter QR CODE